

授業科目	老年看護学概論		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	1学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
1. 老年看護学の概要を理解する。 2. 高齢者の特徴について理解する。 3. 高齢社会や高齢社会における高齢者の生活を理解する。 4. 高齢社会の現状と老年看護における倫理的課題が理解できる。 5. 高齢社会における保健・医療・福祉の課題を理解する。 6. 老年看護の目的と役割を理解する			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	2	老年看護学の概要	1. 老年看護学の位置づけ 2. 加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化
2	2	高齢者疑似体験	1. 高齢者疑似体験
3 ～ 8	12	高齢者の理解	1. 高齢者の定義 2. 老年期の発達課題 3. 老年期の健康と生活 4. 高齢者のヘルスアセスメント 5. 高齢者の権利擁護、倫理的課題
9 ～ 12	8	高齢社会の理解	1. 超高齢社会の現状と課題 2. 高齢社会における保健医療福祉の動向
13 ～ 14	4	老年看護の機能と役割	1. 老年看護の役割 2. 老年看護における理論・概念
15	2	まとめ 単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院		
4. 参考書	国民衛生の動向 厚生労働統計協会		
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します。		
6. 備考（学生へのメッセージ等）	高齢者が見ている景色等が高齢者疑似体験をとおしてよくわかった。高齢者の気持ちを理解することができます。		

授業科目	老年看護援助論Ⅰ（高齢者の日常生活援助技術）		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	2学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. 高齢者の加齢による変化や身体症状をアセスメントし、生活援助技術が実施できる。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	2	自立生活の拡大に焦点をあてたアセスメントとケアの技法	1. 日常生活を支える基本的活動
2	6	身体的変化と生活リズムの回復に焦点をあてたアセスメントとケアの技法	1. 高齢者の食生活 2. 高齢者の排泄 3. 高齢者の清潔 4. 高齢者の生活リズム 5. 高齢者とのコミュニケーション
5	2	高齢者の主要徴候に焦点をあてたアセスメントとケアの技法	1. 高齢者に特有な症状の特徴
6 7	4	高齢者の日常生活援助の実際	1. 学内演習 口腔ケア、陰部洗浄、おむつ交換、ポータブルトイレでの排泄援助、 廃用症候群予防の自動・他動運動など
8	1	単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します。		
6. 備考（学生へのメッセージ等）	高齢者に対する生活援助技術が実施できることが目標です。 1年次に学習した日常生活援助技術について復習しておいてください。		

授業科目	老年看護援助論Ⅱ（高齢者の健康障害時の看護）		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	2学年 全期
1. 科目のねらい・目標			
1. 高齢者におこりやすい健康障害の特徴を理解する。 2. 健康障害がある高齢者に対する援助方法を理解する。 3. 人生の終焉を迎える高齢者の支援と看護について理解する。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	2	老年期にみられる疾患	1. 高齢者の疾患の特徴
2	2	施設における看護	1. 入院を必要とする高齢者の看護 2. 退院時の看護と継続看護
3 ～ 6	8	治療を受ける高齢者の看護	1. 薬物治療を受ける高齢者の看護 2. 手術療法を受ける高齢者の看護 3. 治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護 4. 高齢者のリスクマネジメント
7	2	終末期における看護	1. エンドオブライフケア 2. 高齢者の死亡場所の変化 3. 意思決定への支援
8 ～ 10	6	障害のある高齢者の看護	1. 認知症のある高齢者の看護
11 ～ 14	8	リハビリテーション	1. リハビリテーションの歴史・概念 2. リハビリテーションの方法 3. リハビリテーション看護 4. 姿勢・移動に関するリハビリテーション： 杖歩行、松葉杖歩行、関節可動域訓練等
15	2	まとめ 単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します。		
6. 備考（学生へのメッセージ等）	成人とは異なる高齢者の健康障害時の看護のポイントを理解してください。		

授業科目	老年看護援助論Ⅲ（看護過程）		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	2学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
1. 運動器疾患のある高齢者の看護過程の展開方法を習得する。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	2	看護過程の展開	1. 看護過程の進め方 2. 事例提示
2	2	個人学習	1. 情報の確認
3 4 5	6	個人学習	1. 情報の分析・解釈
6	2	発表	1. 情報の分析・解釈の発表
7	2	個人学習	1. 看護診断・目標・計画
8	1	まとめ	
3. 教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [10] 運動器 医学書院		
4. 参考書	エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図 中央法規		
5. 成績評価方法	評価表に基づいて評価します。		
6. 備考（学生へのメッセージ等）	授業は基本的に個人学習で進めます。 情報の解釈・分析については発表の時間を持ち、学習内容を共有します。 事例展開は実習に活用しましょう。		